



# わーるど

## “いなみ野の里” ホームステイ便り 8月13日(土)～20日(土)

5か国より6名の留学生が稲美町にやって来ました



## いなみ野の里号

### 英語子どもサマーキャンプを開催しました!

夏真っ盛りの7月31日(日)三木山森林公園で播磨町、高砂市の子ども達を含め総勢70名で英語サマーキャンプを開催しました。

午前中はALT(外国語指導助手)との英語ゲームで遊び、昼食の後はクラフト工作に熱心に取り組みました。稲美町から参加した12名の小学生たちも笑顔一杯で、充実した1日を過ごしました。



### 国際交流茶会を開催しました

7月3日(日)万葉の森 憩いの館で茶道裏千家加古青年部にお手伝いいただき国際交流茶会を開催しました。当日は外国人や親子連れの総勢29名の方々がお点前の作法を学び、お抹茶と季節の和菓子をお楽しみながら談笑しました。

感想:ぼくはお茶の教室に来て、お茶の楽しさを知りました。まぜるのが楽しかったです。お抹茶はこんなにおいしいんだなと思いました。(藤原猛流)



### 会員募集

21世紀にふさわしい稲美町の国際交流を進めるため、稲美町国際交流協会の会員を募集します。多くの方のご加入により、活気があふれ、心とこころがふれあう協会にしたいと思っております。ご賛同をお願いします。なお、会員の皆様には、各種イベントのご案内、イベント参加費の割引などの特典を予定しております。

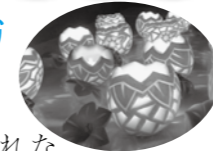
【年会費】	・個人	1口	1,000円(中高生は500円)
	・家族	1口	2,000円(同居)
	・団体、法人	1口	5,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

### 異文化理解講座のご案内

#### フルーツカービング

(タイの文化に触れる)



秋の夜長、おしゃれなりんごのキャンドルホルダーの灯りで過ごしてみませんか?

日 時: 11月27日(日) 14:00~16:30  
 場 所: いきがい創造センター多目的ホール  
 講 師: 萬山 総子さん  
 会 費: 会員 300円、非会員 500円  
 定 員: 先着20名(中学生以上)  
 申込締切: 11月10日(木)  
 メニュー: フルーツカービングのお話  
 リンゴのキャンドルホルダー作りなど

### 編集後記

3月の東日本大震災で、留学生の来日が2週間遅れとなりましたが、予定通りホームステイ事業を開催することが出来、安堵しております。

わずか8日間の滞在で留学生は、町内の違った年齢層の人々との出会いで交流を深めました。初対面の時の不安とうれしさの混ざった表情がだんだんと明るくなり、お互い親密感が生まれ、最終日には涙の別れとなりました。言語、習慣などの違いはあっても、人間の心の奥にある感情は皆同じです。その意味で住民レベルでの交流は大切だと感じます。

最後になりましたが、このホームステイ事業にご協力、ご支援いただきました皆様には心より御礼申し上げます。また今後とも当協会の活動にご支援よろしくをお願いいたします。(N)

### わーるど編集ボランティア募集!!

稲美町国際交流協会では年3回(6月、10月、3月)に国際交流通信わーるどを発行しています。

私達と一緒に国際色豊かな広報誌を作ってみませんか。ご連絡をお待ちしています。

【わーるどクイズ④の答え】

オーストラリア

(1860年、アフガニスタンから調教師とともに24頭のラクダが輸入されました。)

【クイズに挑戦の答え】

1. (2) 2. (3) 3. (2)

▼またいつか会いましょうね。

▼もう少し一緒にいたい。



8日間はアツという間に過ぎてしまいました。今日はお別れの日です。いつもながら涙の別れとなりました。再会を約束して、バスを見送りました。(N)

8/20(土) お別れ会

# 稲美町での8日間

## 留学生達はどんな経験、どんな発見をしたのでしょうか？

▼どんな質問をしたのかな？



小学校のみんなにお会い出来て、いろいろな遊びも習いました。大好きな雅楽も初めて生で聞くことが出来て、感動極まりないです。自分の国のことも紹介するチャンスが出来て、本当にうれしくて、皆さんに感謝いたします。本当にありがとうございます。(タラチャン)  
今日、外国の方々と交流をして、まだまだ知らない事や文化などを学びました。ぼくたちも日本の歴史ある遊びなどを教えました。みんな上達が早く、とてもおどろきました。またこんなきかいがあれば交流したいです。(6年1組 中村壮翔)

ぼくは、みんなとても日本語がうまいと思いました。あと、マンゴーが十円で買えるとか、百円でリンゴが1kg買えるのはとてもいいと思いました。(6年2組 宮本 薫)  
今日の国際交流は、ティータイムもあって、留学生の人達と、話をたくさんできて良かったです。留学生の方が、国の説明をしてくれた時は、おもしろかったです。それに、これまで知らなかったことも知ることができて、うれしかったです。(6年2組 坂本あかね)



▼お茶を飲む時間

8/18(木) 中学生交流

私達を歓迎してくれた中学生達をありがとうございます。夏休みなのに、休まずいろいろな準備をしてくれて、本当に感動しました。帰る時、みんなからお土産まで貰って、そこにはみんなの気持ちを込めたメッセージが書かれていました。かわいい中学生との交流は楽しかったです。(ミヤー)  
今日の国際交流を楽しみにしていました。不安や心配もありましたが、皆さん日本語がとても上手で、短期間で身に付けられるレベルではありませんでした。どのプログラムも楽しそうで、6人の皆さんにとって良い思い出になったと思います。自分にとっても良い経験になり、中学校生活のよい思い出となりました。(澤 風哉)



▼たこやき、早く食べた。

今日はとても素晴らしい一日となりました。私は書道担当で、皆さんと一緒に習字が出来て楽しかったです。難しい漢字でしたが、きれいに書いていて驚きました。英語で説明しようと頑張ったのですが、日本語が多くなってしまいました。留学生の方々は理解してくださり、助かりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。(中本 梨奈)

▼見事な筆さばき。



▼やったね。クイズ優勝おめでとう

楽しいクイズのゲームで、自分の国の面白いことを紹介したり、他の留学生の国の事をいろいろ教えてもらったりしました。それに稲美町の住民と楽しく交流する事が出来ました。豪華な賞品も頂きました。(コア)



It was interesting to hear all about different countries. I hope to do it again soon!! (Karen Ferris)  
留学生のクイズは、とてもおもしろかったです。ベトナムのコアさんと同じグループでした。ベトナムの人は朝食は外食する人が多いと聞き、驚きました。文化の違いをたくさん知り、とても楽しい交流会でした。(前川 和子)

▲ベトナムのクイズ、わかるかな？

8/17(水) 老人クラブ交流

初めての布草履を作りました。やや小さいですが、履き心地はすごくいいです。皆さんのおかげで、草履に一層興味を持つようになりました。わらで作った草履を買おうと思っています。今日、いろいろなおもしろい話を聞かせてもらいました。さすがに人生の先輩だなと思いました。(ジェフ)  
小さい頃から、日本に生活しているような錯覚を感じる程で違和感がなかった。世界は縮まっているなという思いでした。(須磨邦彦)  
久しぶりの若者たちの交流。日本語が上手で、自分の国の話を聞かせてもらって胸が熱くなる思いでした。外国も日本も一つだと思います。本当に楽しい時間を過ごせました。(鷲野信子)



▼丁寧に教えていただきました。

8/17(水) ぶれあい料理教室

▼見事なお節料理が完成。



料理教室：お節という日本の料理をしました。初めてなのでちょっと緊張しましたが、皆に熱心に説明してもらったり、教えてもらったから、うまく出来ました。料理もおいしかったし、みんなと話すことも楽しかったです。自分で作ったから、私にとって、意味があった。(ハイシア)  
皆さん日本語が上手で、男子でも自炊しているせいかもしれませんが、包丁使いもなかなかのものでした。自国に帰ってからも、日本の食を思い出して、作って見てください。(沼田 サチ江)  
今年の人たちは、日本語がよく出来て楽でした。日本のことにも興味いっぱい、私ももっと勉強しておかないと恥ずかしいと思いました。一日楽しかったです。(和田 平子)

▲お腹いっぱい、笑顔いっぱい

▼お茶で乾杯。これから8日間よろしく。



夏の暑さをものともせず、精一杯の立派なパフォーマンスで迎えていただき、感謝する対面式だったと思います。少し緊張していましたが、皆に親切に話して頂き、この人々の親切が感じられる楽しい対面会だったと思います。(コア)

8/13(土) 対面式・歓迎会

▲お見事です。こま回しのわざ。



8/18(木) 万葉茶会

万葉の森の雰囲気はとてもよかったです。茶道と生花にはびったりだと思いました。掛け軸は特に気に入りました。一期一会が一番好きな言葉の一つです。素敵な意味だと思います。とても興味を持っていたので、自分ですることが出来うれしく思いました。国に戻っても、生花と正座の練習をし続けたいと思います。(モナ)  
2度目の参加でしたが、程よい緊張感の中、やり遂げることが出来ました。外国の方々と交流は私にとっても良い機会となりました。今後いろいろ勉強したいです。(浦本 千秋)



▲正座はきつかったけど、お抹茶は美味しかった。

8/16(火) オプション

姫路城見学：修復棟は40分の待ち時間と言われましたが、予約をしていたので、待ち時間なしで見学出来ました。帰りのバスの中で姫路城のクイズをして盛り上がりました。(N)  
座禅体験：ご住職の法話、抹茶の接待に続いて、薄明りの本堂での座禅(30分間)により無我の境地を体験しました。その後は、盛大な花火大会で夏の夜を楽しみました。(M)

### 小山ファミリー 留学生 モナ (リトアニア)

#### ホームステイを通して

8日間はアツという間でした。モナと対面した時、明るくて、優しくそうな方で、それまでの不安や緊張がなくなりました。モナといろいろ話すと、日本語だけでなく日本文化や歴史、食文化など勉強されていて“すごいなあ”と思いました。座禅体験では仲のよい友達も出来、すごくうれしかったです。モナにお手玉やあや取りを教えたり、逆にチェスを教えてもらったりしてとても楽しかったです。ふれあい交流会では他の留学生とも交流出来ました。ハインシアと同席になりました。最初、真面目そうな子と思いましたが、話してみるとすごく面白い子で、自国のことも話してくれました。日本の芸能人に興味があるようでした。お別れ会では、心に残るものばかりで、涙をこらえるのに必死でした。最後にハグをしてさよならをしました。家に帰って、モナの座っていた席、使っていた部屋を見て、その時もういないのだと実感がわいてきました。別れる時の辛さや悲しさはゼロではありません。ホームステイを通してたくさんの思い出も出来ましたし、お金で買えない大切なものを貰ったのです。そして来年もまたホームステイを受け、思い出をまた一つ増やしたいと思っています。(小山如月)



#### 留学の目的を達成!



ホストファミリーは本当の家族ではないことを忘れてしまうぐらい親身に接してくれました。私の家族が稲美町にいると言えるようになった。ふれあい交流“いなみ野の里”のスタッフの皆さんのおかげで、色々なことを知ることができた。子供の学校の様子、稲美町の人々の習慣や町の行事などを体験することが出来、今まで日本について知らなかったことを知ることができた。稲美町に来る前は、日本について知らないことがたくさんあったので留学の目的が達成できてなかったが、今は満足し帰国ができると思う。

将来、日本に来ることができたら、是非稲美町を訪ねたいです。

(モナ)

#### ひと休み クイズに挑戦

- イランのお正月はいつ?  
1. 1月1日    2. 3月19日 春の始まり    3. 4月26日
- リトアニアで一番人気のあるスポーツはなんでしょう?  
1. 野球    2. 水泳    3. バスケットボール
- ベトナムの首都ハノイは建設されてどれくらいたっているでしょう?  
1. 500年    2. 1000年    3. 896年



答えは最終ページ右下にあります。

## ホストファミリーと留学生の 8日間 Part I

### 大向ファミリー 留学生 タラチャン (イラン)

#### タラちゃん、ありがとう!!

「イラン」と聞いて、私たち日本人は、まず何を頭に思い浮かべられるでしょうか。「イラン=イスラムの世界=怖い」という短絡的な考えが、最初に私の頭に浮かび、不安がよぎりました。でも、明るくパワフルで好奇心旺盛なタラチャンを家族の一員として迎え入れて、その凝り固まった私の考えは払しょくされました。生活風習が違って、私たち人間は基本的には同じなのです。家族を愛し、友人を大切に思い、若者は夢を抱き、そのために努力します。こんな当たり前のことを改めて実感した一週間でした。



タラチャンは平家物語や百人一首を初め、Jポップやアニメなど日本の何もかもが素晴らしいと言ってくれました。日本人の私たちよりも、日本を愛しているのではないと思うほど、タラチャンの日本に対する思いは日々大きくなっていくようでした。9月末には帰国するタラチャンですが、必ず再び日本に来ることでしょう。その時には、稲美町の家族に会いに来てください。タラチャン、待ってますよ。

(大向佐都子)



#### 心と心の出会い

稲美町に着いたとたん、皆さんの笑顔を見て不安の気持ちはどこかに飛んで行ってしまいました。いろいろなプログラムに参加し、この1週間で小学生から年配の方々とお話をして、大好きな日本の国の心に初めて触れることが出来た気がします。日本人はイランをこわい国というイメージを持っていると思う。それにもかかわらず、ホストファミリーをはじめたくさんの方が私の話を聞いてくれました。そして何人かの人からイランのイメージが変わったと言われ、本当にうれしかった。1週間受け入れてくださった方々に言葉で表すことが出来ないほど感謝しています。本当にありがとうございました。



(タラチャン)

### 井上ファミリー 留学生 ジェフ (香港)

#### ジェフとすごした夏

いつの間にか、我が家の恒例行事になったホームステイ受け入れ。新しい出会いに毎年早くからわくわくしています。今年は香港からやってきたジェフ。日本語がとても上手で、英語は全く必要ありませんでした。

言葉のカベがないと打ち解けるのも早く、すぐに仲良くなれました。一緒に踊った見よう見まねの盆踊りや母里Jrのバレーボール練習。印南寺の座禅体験や休園日と知らずに行ったコウノトリ公園。出石の皿そばのおいしさにも感激してたね。でも一番喜んでくれたのは消防署見学で、普段近くで見ることのない消防ヘリや消防艇に興味津々でした。



ホストファミリーとしていつも悩むのが食事のメニューですが、今回はあえて和食にこだわらず、子供たちの好きな煮込みハンバーグや唐揚げなどのメニューもとりいれてみました。若い男の子なので喜んで食べてくれました。



9月には香港に帰って大学に行くそうです。日本で体験したことをいっぱい持って帰ってください。そして、その中に稲美町という小さな町で私たちと過ごした1週間を加えてもらえたら幸いです。

楽しい時間をありがとう!いつかまた、きっと会いましょう。

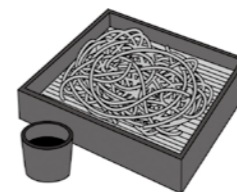
(井上愛美)

#### 初めてのいなみ町

印南寺のお坊さんが教えてくれたように、同じことでも違う人と違う場所で経験すると変わってきます。ホームステイは初めてではありませんが、前と違って楽しいことが多かったです。出石にそばを食べに連れて行ってもらいました。そばは嫌いですが、なま卵入りのだして食べるそばは初めてでしたが、おいしさに感動しました。人生で初めてヘリコプターに乗りました。お父さんが何十年間消防士の仕事に貢献してきたおかげです。イベントはたくさんありましたが、地元の小中学生と交流できたことは一番印象に残りました。初対面なのに学生たちの情熱をすごく感じました。感想文をもらった瞬間涙が出そうになりました。アツという間の8日間で、お別れは悲しいです。帰らなくてもいいですか?



(ジェフ)

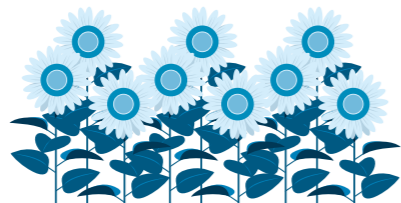


## 藤本ファミリー 留学生 ミャー (ミャンマー)

## 初めてのホストファミリー体験

今回初めてホストファミリーに応募しました。決定通知が届いてからは、家内は料理、私はミャンマーの事前調査、息子夫婦はプレゼントや質問を考えたりと個々に試案していました。しかし、説明会での先輩ホストのお話や留学生のミャーからの手紙が届いたりして不安は無くなっていきました。そして、歓迎会当日、家族4人で参加し、私たちはミャーを娘としてまた息子夫婦は妹として迎えました。フリータイムでは盆踊りを体験したり、明石海峡大橋や天文科学館の見学や魚の棚での買い物など楽しく過ごしました。また、野菜の収穫も体験しました。夜には交流会で出題するクイズを考えたり、日本の文化や伝統を学ぼうと一生懸命取り組んでいる姿に感動しました。お別れ会でのミャーは稲美町の皆様からいただいた沢山の愛情と8日間のステイを思い出し、涙あふれる感謝のスピーチでした。いつか私たち家族がそしてミャーがひと廻りもふた廻りも大きくなっての再開を心待ちにしています。

(藤本春巳)



## 温かい心と出会った8日間

あっという間にこの楽しい一週間が終わりました。大阪大学でいなみ町のホームステイプログラムのポスターをみて自分の日本語と日本文化の上達のため応募しました。初めは8日間のホームステイは「長いな…」と思いました。自分の日本語能力にも自信がなくて心配と緊張でいっぱいでした。しかし、優しい「いなみ野の里」のスタッフや温かい心で歓迎してくれたホストファミリーとの出会いで、その心配はすぐなくなりました。初対面の日から8日間、毎日嫌な顔一つせず、笑顔で温かく接してくれたホストファミリーと最高のホストファミリーを探してくれたホームステイプログラムのスタッフの皆さんに本当に感謝しています。この8日間、小学生から老人まで老若男女のみんなと交流することができて本当にうれしかったです。このホームステイプログラムで私の希望だった日本語と日本文化の上達だけでなく、日本人の温かい心を学ぶことができました。この貴重な8日間は私にとって一生忘れられない思い出になるのは確かです。

皆様「どうもありがとうございました！」

(ミャー)

## 米澤家ウルルン滞在記

ホームステイが始まる数日前の夜とつぜんの電話。たどたどしい日本語で『切手を貼り忘れたので、手紙が戻ってきた。家族と過ごす夏休み楽しみにしている。』という内容だった。何かとても可愛く思え、ホームステイが待ち遠しくなった。歓迎会当日、彼女を自宅へ案内すると、ポストに彼女の手紙が届いていた。何とも面白い偶然である。

ベトナムから来た彼女はハイシアと名乗った。ハイシアの趣味はコスプレらしく《ナルト》や《セーラームーン》に変身するらしい?それに「お手伝いさん」のことを「おしん」とベトナムでは呼んでいると聞いて、また驚いた! 恐ろしや日本文化!!!

とても面白い彼女だが、一緒に行った陶芸体験ではサッサと皿を完成させたり、小学校交流では初めてのなのにコマを上手に回したりと器用な面も見ることができた。交流を深めるうちにいつの間にか完全に米澤家に溶け込んでいた。お別れ会の時、ハイシアのスピーチは号泣して声にならなかった。私も涙がこぼれるのを必死でこらえた。ホストファミリーをするのは大変なことだが、それ以上に得る物が大きい。逆ウルルン滞在記である。

(米澤陽子)

ホストファミリーと留学生の  
8日間 Part II

## 米澤ファミリー 留学生 ハイシア (ベトナム)



## ふれあい交流 “いなみ野の里”

8日間は長期ではないですが、いろいろな経験をさせてもらって楽しかったです。いなみ町の人たちとお節づくり、書道、茶道、生花など日本文化を楽しみながら交流出来て、うれしかったし、知識がふえました。ホストファミリーと行ったお墓参りが印象に残っています。日本文化・習慣だけでなく、日本人の日常生活も体験させてもらいました。子供たちはとてもかわいかったです。ホストのお母さんは私の日本語が下手なのをわかってくれ、熱心に教えてくれました。私にとっていなみ町のホームステイプログラムは忘れられない思い出になりました。

(ハイシア)

## 水田ファミリー 留学生 コア (ベトナム)

## コアと過ごした大切な時間

今回、我が家の一員になってくれたのは人懐こい笑顔が印象的な「コア」。ベトナムのハノイ出身で、20歳とは思えないほど落ち着いた印象で聡明な青年でした。とても流暢な日本語で、敬語・謙譲語まで上手に使っていました。

彼の話はとてもわかりやすく、漢字と絵を描いての上手な説明に、彼の真面目な人柄が伝わってきました。

彼の話の中で興味深かったものの一つにハノイの住宅があります。

ハノイでは土地が道路に接する間口が狭く、奥行きのある細長いものが多く、一つずつの住宅は独立しているけれど、隙間はほとんどなく一見、長屋のように見えるとか…。ベトナムの話や話を聞けば聞くほど行ってみたいくなり、同時に日本のありがたさを感じました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、帰ってしまった後も、私の料理が食べたいなんていうメールをもらってまた涙腺がゆるんでしまっています。コアまた来てね～。

(水田克美)



## 光陰矢の如し

日本に来てから初めての夏休み!!稲美町に滞在した8日間は私に大変楽しい思い出を残してくれました。

「光陰矢の如し」の様な8日間でしたが、ホストファミリーと過ごしたり、他の各国からの留学生と一緒に稲美町の町民と交流したりする事によって、日本に来たばかりの私にとって、大いに勉強になっただけではなく、この町に愛着を感じる様になりました。

料理教室と、茶道・華道教室は留学生の私達にとって面白く、初めての体験でした。料理の材料のそれぞれの意味や、茶道・華道の作法等を通じて、日本文化の知識が一層広がった感じがします。

そして、最初の荘厳な歓迎式から、色々な行事を通して町民の皆様にあたたかく接して頂き、深く感動しました。

最後に、稲美町国際交流協会の皆様と、ホームステイ・ファミリーとして支えて下さった水田さんへの感謝を述べたいと思います。留学生にとって貴重なホームステイ・プログラムを企画して下さいましたお陰で、色々勉強して交流する事が出来、ホストファミリーの御支援で元気で最後まで参加する事が出来ました。大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。

いずれまた皆様にお会いしたいと思います。

(コア)

## わーどクイズ ④

★野生のラクダが一番多く生息している国はどこでしょうか。

答えは最終ページ右下にあります。